

新たな門出に向けて

校長 藤井 和彦

今年の冬は冷え込みも厳しく、八尾城の木立から吹く風のかおりや高光川のせせらぎにやっと春の息吹を感じる今日この頃となりました。三月二十二日は、第五十二回神石小学校卒業証書授与式です。五名の卒業生は神石小学校を巣立っていきます。六年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

この一年間、卒業生は様々な場面で前面に出て発言し、行動し、全校をリードしてくれました。学校が掲げている「リーダーになろう」という目標をまさに、日々の行動で示してくれたように思います。皆さんの生き様は神石小学校の良き伝統となったに違いありません。

今日の日を迎えることができたのは、君たちの成長を毎日見守って下さったご家族の方や多くの保護者・地域の方々のお陰です。感謝の気持ちを忘れることなく、新たな目標に向かって進んでください。そして人との出会いを大切に、謙虚に、周りの人に感謝することを忘れず、大きく羽ばたいてください。

また、これまでの思い出を胸に、自らの夢の実現に向かって、失敗を恐れず挑戦し続けてください。私たちは皆さんが持って生まれた可能性をこれからもいかなく発揮し、人として大きく成長することを期待し、そっと見守っていたいと思っています。

最後になりましたが、これまで子供達を地域の宝として、温かなご支援とご指導をくださいました地域の皆様、ありがとうございます。五名の卒業生は学舎を巣立って行きますが、これからも変わりなく、在校生達を見守り励ましていただきますようお願い申し上げます。また、この一年間、神石小学校に対して皆様から戴きましたご理解ご協力を心から感謝申し上げます、年度終わりのご挨拶いたします。